



CELEBRATION OF

GOLDEN WEDDING

手を携え 共に歩んだ50年



金婚おめでとうございます

今年、金婚の節目を迎えられたのは、昭和35年1月1日から12月31日までに婚姻届を出されたご夫婦です。

香南市からは「第53回金婚夫婦祝福式典(高知新聞企業などの主催)」に26組のご夫婦が申し込まれ、9月1日(水)南国市で開催された式典で祝福されました。

戦争、終戦、戦後の復興と、まさに激動の時代を乗り越え、今日まで苦楽を共にしっかりと手を携えてこられたご夫婦の皆さまに、敬意と感謝を込めてご紹介させていただきます。

共に歩んでこられた半世紀の節目とはいえ、お互いになかなか伝えられない思い…。

ある日の新聞に、金婚式当日に出席できなかったご夫婦の奥さまの思いが掲載されました。掲載文とあわせてご紹介させていただきますとともに、金婚ご夫婦皆さまのますますのご健康とお幸せをお祈りいたします。



近森亮・和子さん(野市)



島田壯助・由利子さん(野市)



楠瀬達雄・京子さん(野市)



上村國一・香代美さん(野市)



松崎俊一・淑恵さん(野市)



西岡新一・貞子さん(野市)



恒石晃志・良子さん(野市)



筒井作郎・尚子さん(野市)



山中功・起世子さん(野市)



山崎正年・陽子さん(野市)



山崎喜司郎・ミヤ子さん(野市)



村山淳・京子さん(野市)



大庭直兄・敏子さん(香我美)



西村正雄・モリ子さん(赤岡)



寺内幹雄・民子さん(赤岡)



川村満昭・眞子さん(赤岡)



公文英男・清美さん(夜須)



内田一・芳江さん(夜須)



入院生活の金婚年 岡崎美佐子

第53回金婚式の記事を新聞で拝読し、感無量です。実は私たちも、今年の金婚式に2人で出席させてもらうことを楽しみにしていました。ところが、主人が肩を痛め入院・手術。介護に通っていた私も突然、胃を切除することとなり、主人90日、私50日の入院生活は、JR高知駅を挟んで離れ離れでした。入院中、主人は右肩に重い装具を着け、一日置きに点滴で自由の利かない私のために顔を出してくれ、母の日にはカーネーションの花をぶら下げて病室へ。あの日はそっと涙を拭きました。

運命にたぐり寄せられたころの初々しさも恥じらいも、時の流れに流してしまい、あれから50年、今は調子崩れの体にシワと白髪のオンパレード。でも、お母さんと呼んでくれるかわいい嫁2人、かわいい孫や息子たちに囲まれています。金婚式には出席できなかったけれど、入院で大勢の方に温かい手をさしのべていただいたことは、何よりの宝物です。

お父さん、これからもつらいこと、悲しいことはあると思うけど、ゆっくりゆっくりでいいから長生きしてほしい。
私、もう少しあなたの傍らで生きていたい。
50年間変わらぬ愛をありがとう。これからもよろしくね。



岡崎橋夫・美佐子さん(香我美)



足達潔・美起代さん(野市)



安岡泉・寛子さん(香我美)



白石順一郎・照子さん(香我美)



門脇頼盛・ミヨ子さん(香我美)



岡田勝・紀代子(野市)



岡崎勇・富美さん(野市)



入野規・美津子さん(野市)



有澤昭廣・典子さん(野市)